

アンケート集計結果及び考察

＜評価段階＞ A: そう思う B: ややそう思う C: あまりそう思わない D: 全くそう思わない

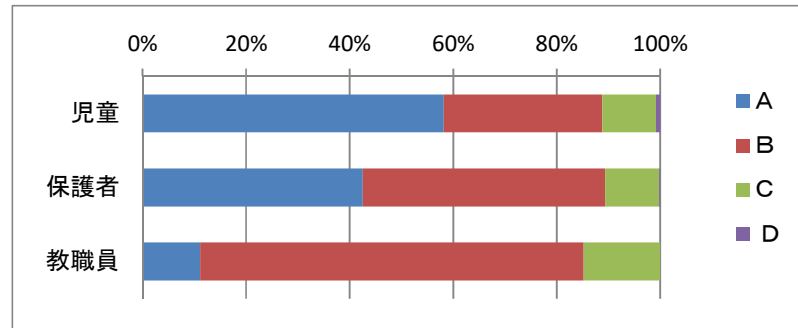
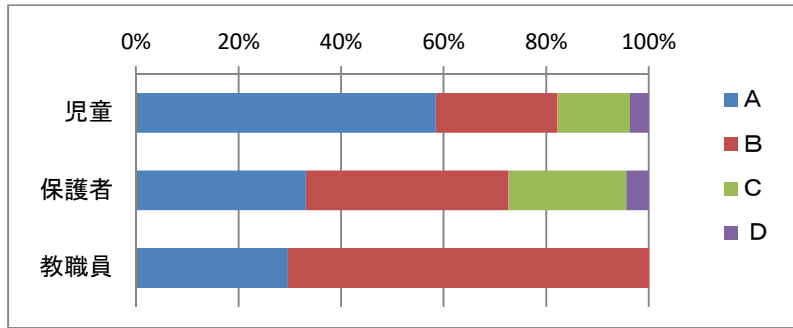
◎: A+Bが90%以上 ○: A+Bが80%以上 △: A+Bが70%以上 ▲: A+Bが70%未満

I 協働型学校評価の重点目標について

今年度は、協働型学校評価の到達目標を「読書を楽しむ心豊かな児童の育成」とし、学校・地域・家庭が連携して、読書に親しみ、思いやりの気持ちを大切にする児童の育成に努めてきました。

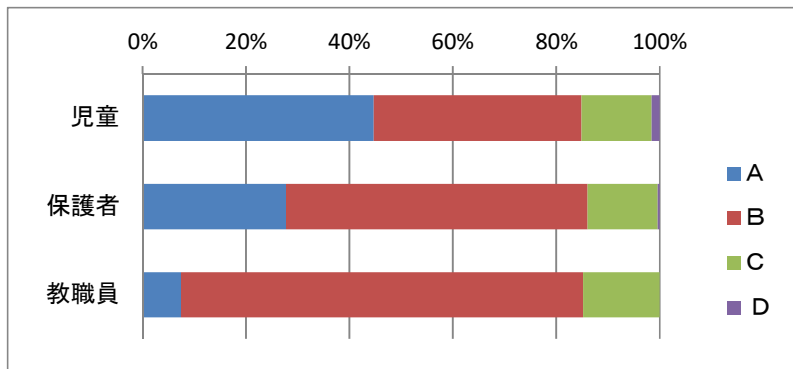
	A	B	C	D	A+B	評価	
1 読書をしている	児童	59%	24%	14%	4%	82.2%	○
	保護者	33%	40%	23%	4%	72.7%	△
	教職員	30%	70%	0%	0%	100.0%	◎

	A	B	C	D	A+B	評価	
2 あいさつをしている	児童	58%	31%	10%	1%	88.8%	○
	保護者	43%	47%	10%	0%	89.4%	○
	教職員	11%	74%	15%	0%	85.2%	○



	A	B	C	D	A+B	評価	
3 言葉づかいに気をつけている	児童	45%	40%	14%	2%	84.8%	○
	保護者	28%	58%	14%	0%	86.0%	○
	教職員	7%	78%	15%	0%	85.2%	○

設問1 読書をしている
 今年度は、質問を「読書をしている」にしました。保護者の回答が最も低くなっていることから、子供たち学校に比べて家であまり読書をしていない傾向が見られました。学校では「密にならない」などの制限があるため、学級ごとに図書室の利用の時間帯を分けるなどして、読書に親しむことができるよう工夫を行いました。こうした状況の中でも80%以上の児童が読書をしていると答えることができたことは、よかったですと思います。本を読むことを通して読解力や論理的思考の基礎を学ぶことができます。これからも、子供たちが本に親しむことができるよう働き掛けていきたいと思っています。

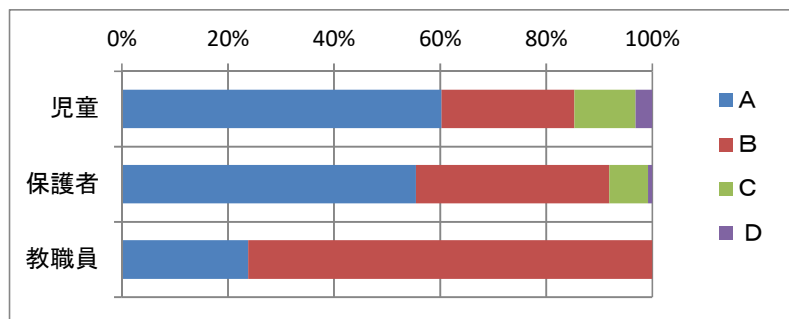


設問2 あいさつをしている
 昨年度「朝にあいさつをしている」という設問から、挨拶全般について問う質問にしました。児童、教職員共に昨年度(児童:87% 教職員:75%)に比べ「そう思う」「ややそう思う」との割合は、高くなっています。毎朝校門前で行っている「あいさつ運動」をはじめ、今年度は計画委員会が「あいさつかるた」を企画し、楽しみながら校内で挨拶について考える機会がありました。1日の中で様々な挨拶が交わされているかと思っています。自然に挨拶をしている子供たちの頑張りを賞賛し、心地よさを実感させたいと思っています。

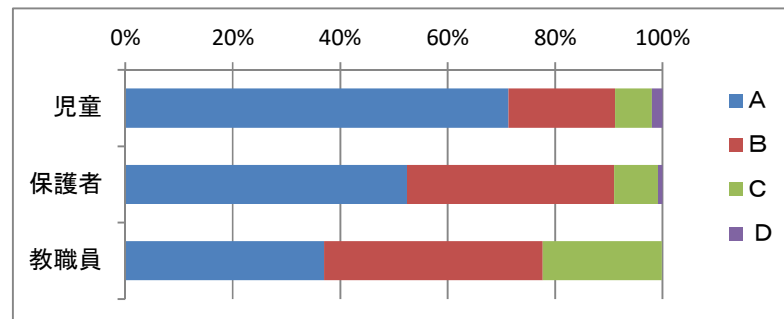
設問3 言葉づかいに気をつけている
 昨年度に比べ児童・保護者が「そう思う」「ややそう思う」と回答している割合が高くなりました。(昨年度 児童:84% 保護者:81%)生活の中で、子供たちが意識できるようになってきたのではないのでしょうか。教職員は昨年(88%)より若干低くなりましたが、全体的に三者共、80%を超えているので、今後も場に合った言葉遣い等の大切さや必要性について指導を続けていきたいと思っています。

Ⅱ 児童の様子（確かな学力の定着に関すること）

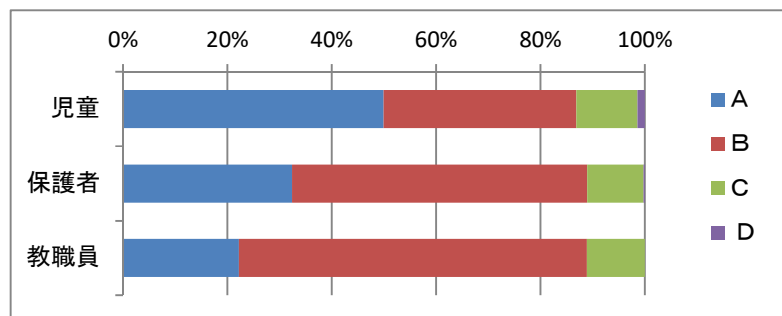
		A	B	C	D	A+B	評価
4 学校に行くことが楽しみだ	児童	60%	25%	12%	3%	85.3%	○
	保護者	55%	36%	7%	1%	91.9%	◎
	教職員	24%	76%	0%	0%	100.0%	◎



		A	B	C	D	A+B	評価
5 家で、宿題や自主学習をしている	児童	71%	20%	7%	2%	91.2%	◎
	保護者	52%	39%	8%	1%	91.0%	◎
	教職員	37%	41%	22%	0%	77.7%	△



		A	B	C	D	A+B	評価
6 学習の基礎基本を身に付けている。	児童	50%	37%	12%	1%	86.9%	○
	保護者	32%	57%	11%	0%	88.9%	○
	教職員	22%	67%	11%	0%	88.9%	○



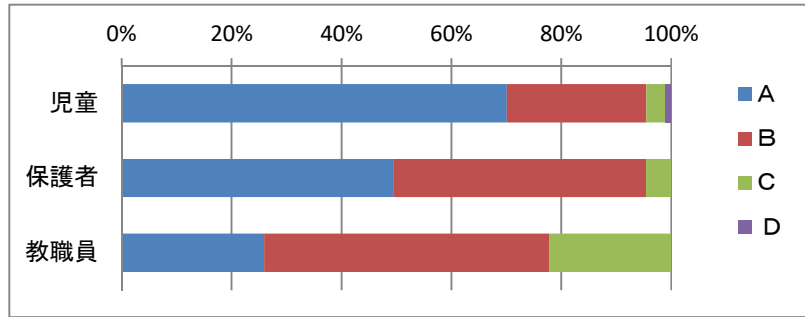
設問4 学校に行くことが楽しみだ
 児童・保護者共に「そう思う」「ややそう思う」と回答している割合は、昨年度（児童:84% 保護者:81%）に比べて高くなりました。休校期間や様々な制限がある中で、児童の「そう思う」と回答した割合が最も高くなっていることは、嬉しい結果です。しかし、「全くそう思わない」と回答している児童が昨年度までと同様に数名います。子供たちの思いを受け止め、学校で学ぶ楽しさを育てていきたいと思えます。

設問5 家で、宿題や自主学習をしている
 児童、保護者は「そう思う」「ややそう思う」と回答している割合が90%を超える望ましい結果になっています。学習した内容を繰り返し、反復することで、確かな理解と定着につながると言われています。また、学習指導要領では、確かな学力を身に付けるために、家庭との連携を図りながら、生涯にわたる学びに向かう力を育てることが求められています。引き続き、各学年で定められた学習時間を目標にご家庭でのご協力のもと、子供たちの確かな学力と学びに向かう力の育成に努めていきたいと考えております。

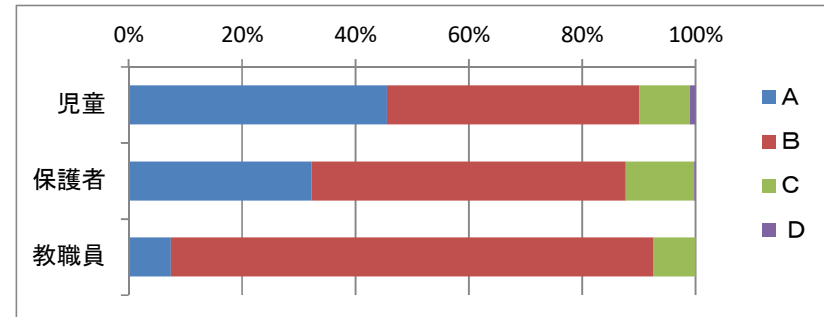
設問6 学習の基礎基本を身に付けている。
 昨年度に比べ、児童・保護者から「あまり思わない」「全くそう思わない」という回答をいただいた割合は、若干低くなりました。昨年度（児童:17% 保護者:15%）しかし、「全くそう思わない」と回答している児童も数名います。学習指導要領では、知識・技能の習得、未知の状況に対応できる思考力・判断力、表現力の育成、学びを人生や社会に生かす学びに向かう力の三つがバランスよく育むことで、これからの世の中に対応できる資質・能力につながると示されています。日々の学びが、自身の力となるよう学習活動の充実を図り、指導法を工夫していきたいと考えます。

Ⅲ 児童の様子（豊かな心の育成に関すること）

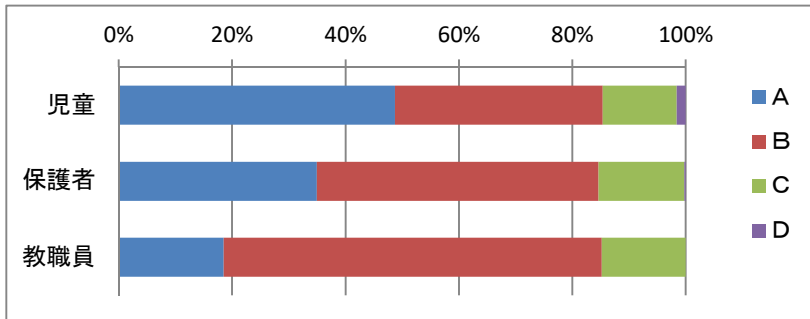
		A	B	C	D	A+B	評価
7人とのかかわりを大切にしようとしている	児童	70%	25%	4%	1%	95.5%	◎
	保護者	49%	46%	5%	0%	95.4%	◎
	教職員	26%	52%	22%	0%	77.8%	△



		A	B	C	D	A+B	評価
8相手の気持ちをかんがえて話したり、すごしたりしている	児童	46%	45%	9%	1%	90.1%	◎
	保護者	32%	55%	12%	0%	87.7%	○
	教職員	7%	85%	7%	0%	92.6%	◎



		A	B	C	D	A+B	評価
9いろいろなことに、やる気をもってとりくんでいる	児童	49%	37%	13%	2%	85.3%	○
	保護者	35%	50%	15%	0%	84.6%	○
	教職員	19%	67%	15%	0%	85.2%	○



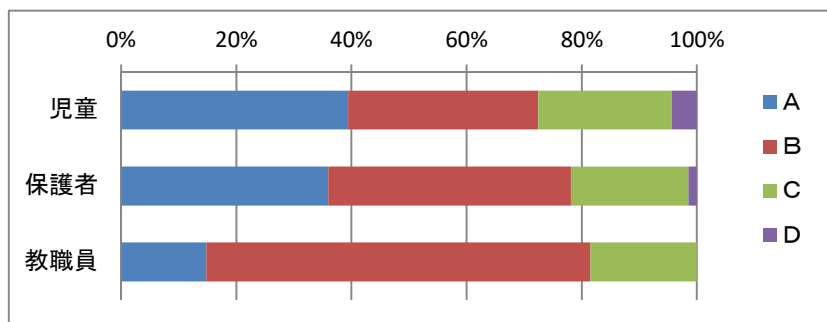
設問7 人とのかかわりを大切にしようとしている
 児童・保護者は、「そう思う」「ややそう思う」と回答している割合が95%以上の結果になり、昨年に比べて高くなっています。昨年度（児童:94% 保護者:94%）今年度は、これまでのようにあいさつ運動や縦割り活動、業間時間の集会活動などが十分できませんでしたが、子供たちが工夫して活動する中で、他者とのかかわりの大切さを強く意識するようになったからだと思います。心豊かな児童の育成を目指し、これからも人とのつながりやかかわりを重視した学習内容を取り入れてまいります。

設問8 相手の気持ちを考えて話したり過ごしたりしている
 三者とも「そう思う」「ややそう思う」と回答している割合が85%を超えています。昨年度最も低かった教職員の回答が、今回は最も高いのですが、「そう思う」だけを見ると、教職員の割合が最も低くなっています。授業中や休み時間の子供たちの様子を見ると、人とのかかわりの大切さは意識していますが、思いの伝え方や相手の話の聴き方が上手くいかず、誤解を生み、すれ違ってしまいう場面が見られました。学年や児童の実態に応じて教職員が、思いや考えを整理し、気付かせていくことができるように指導してきました。これまでのように保護者の方々との連携を大切に、児童の心を育てていきたいと思ひます。

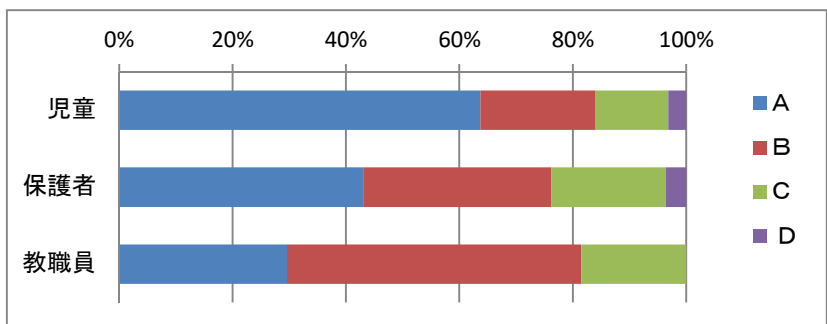
設問9 いろいろなことにやる気を持って取り組んでいる
 三者共に「そう思う」「ややそう思う」と回答している割合が80%を超えています。「そう思わない」と回答している児童が若干名います。様々な学習場面を通して、子供たちの知的好奇心や興味・関心を高める働きかけをして、達成感や成就感を育てていきたいと思ひます。

Ⅳ 児童の様子（健やかな体の育成に関すること）

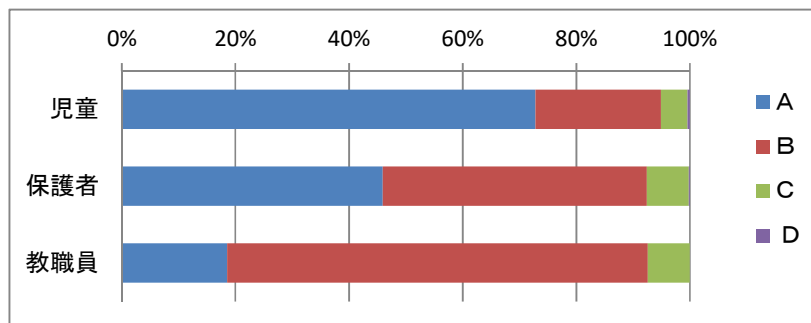
		A	B	C	D	A+B	評価
10 早ね早おきをし、きそく正しい生活をしている	児童	39%	33%	23%	4%	72.5%	△
	保護者	36%	42%	20%	1%	78.1%	△
	教職員	15%	67%	19%	0%	81.5%	○



		A	B	C	D	A+B	評価
12 ふだんから、よく体を動かしている	児童	64%	20%	13%	3%	84.0%	○
	保護者	43%	33%	20%	4%	76.2%	△
	教職員	30%	52%	19%	0%	81.5%	○



		A	B	C	D	A+B	評価
11 安全に気をつけた生活をしている	児童	73%	22%	5%	0%	94.9%	◎
	保護者	46%	47%	7%	0%	92.4%	◎
	教職員	19%	74%	7%	0%	92.6%	◎



設問10 早寝早起きをし、規則正しい生活をしている

児童・保護者共に「そう思う」「ややそう思う」と回答している割合が80%を下回っています。規則正しい生活を送り、より良い生活習慣を確立することは、学習活動の成果にもつながります。これまでのように、ご家庭との協力を通して、定着を図ってまいりたいと考えております。

設問11 安全に気をつけた生活をしている

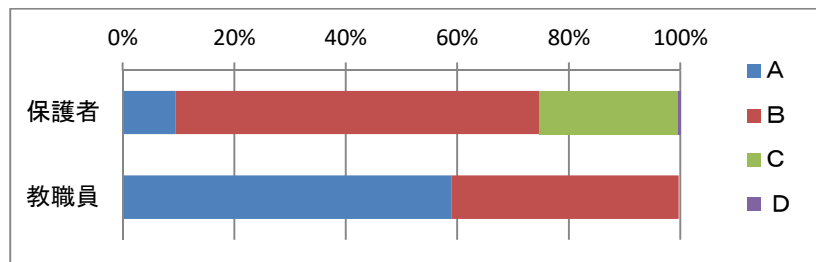
「そう思う」「ややそう思う」と回答している割合が三者とも90%を超えており、安全に気を付けて生活している様子が分かります。しかし、廊下の疾走や登下校時の道路での転倒によるけが等が見られ、安全意識の再確認を繰り返し行ってきました。保護者の皆様や地域の方々にご協力いただき、安全確保に努めておりますが、子供たちの安全・安心な生活のために、引き続きご協力をお願いしたいと思います。

設問12 普段から良く体を動かしている

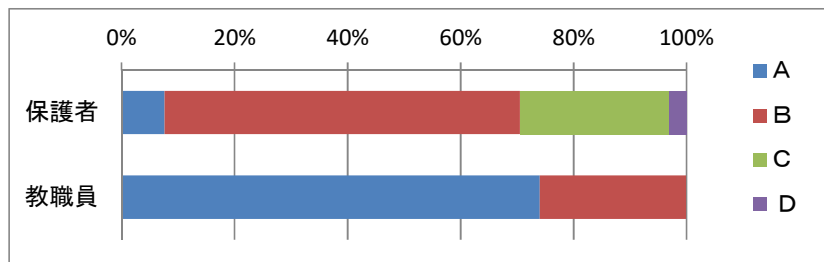
保護者の回答では、「そう思う」「ややそう思う」が80%を下回りましたが、児童と教職員は80%を超える結果になりました。今年度は、多くの制限がある中でしたが、日々の体育の授業や休み時間の外遊びの奨励を行ったことで、児童の結果は、昨年度とほぼ同等の結果となりました。これは、これまでの体力向上に向けた取組の成果だと考えます。体力運動能力テストも体験的に実施しました。確かな学力の定着に向けても基礎となる体力を引き続き向上できるよう努めてまいりたいと思います。

V いじめ対策に関する取組

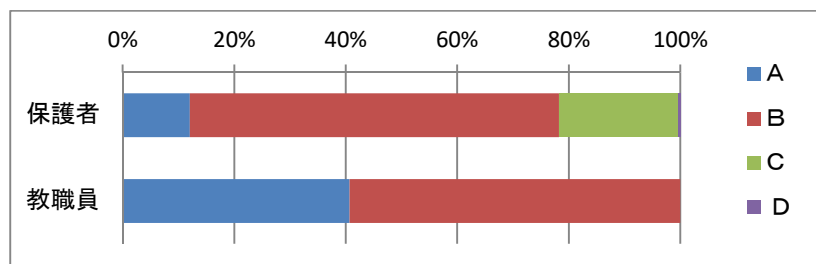
	A	B	C	D	A+B	評価	
13いじめ防止基本方針やいじめ防止の取組を知っている	保護者	9%	65%	25%	0%	74.7%	△
	教職員	59%	41%	0%	0%	99.7%	◎



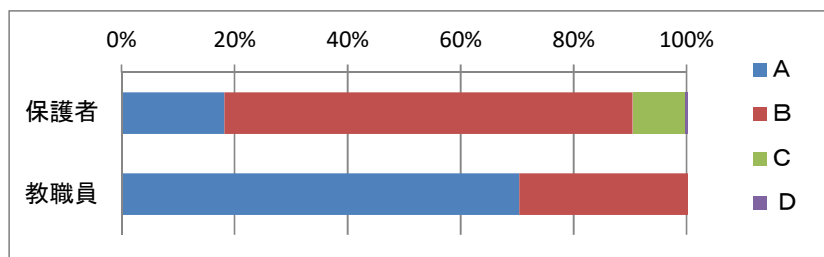
	A	B	C	D	A+B	評価	
14いじめに関する相談窓口を知っている。	保護者	8%	63%	26%	3%	70.5%	△
	教職員	74%	26%	0%	0%	99.9%	◎



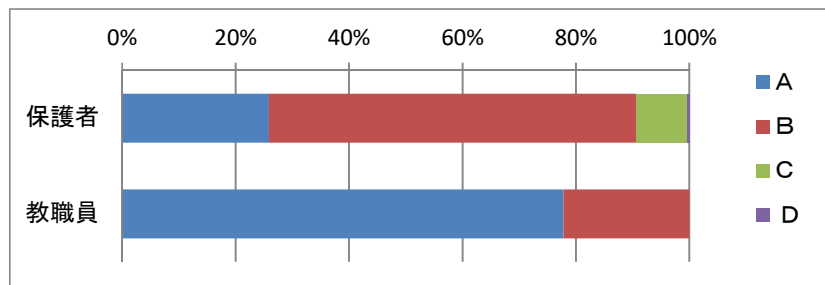
	A	B	C	D	A+B	評価	
15相談しやすい工夫がされている	保護者	12%	66%	21%	0%	78.2%	△
	教職員	41%	59%	0%	0%	100.0%	◎



	A	B	C	D	A+B	評価	
16いじめの未然防止に向けた取組を適切に行っている	保護者	18%	72%	9%	0%	90.5%	◎
	教職員	70%	30%	0%	0%	100.4%	◎



	A	B	C	D	A+B	評価	
17いじめが起きた場合、適切に対応している	保護者	26%	65%	9%	0%	90.7%	◎
	教職員	78%	22%	0%	0%	100.0%	◎

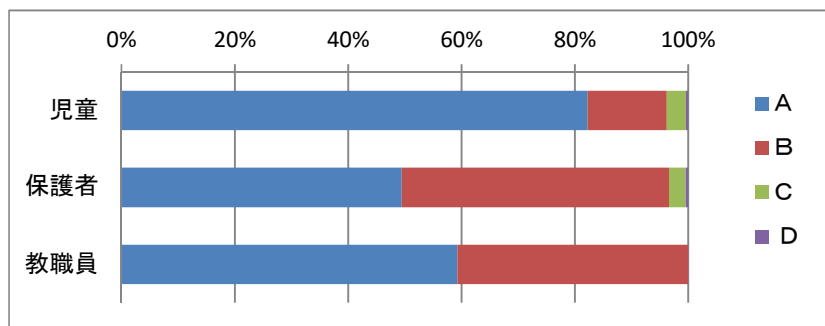


仙台市の喫緊の課題としていじめ問題があり、全市的にいじめ防止に取り組んでいます。今年度も八乙女小では、いじめ防止基本方針に基づき、様々な取組を行ってきました。

この5つの設問の結果を見ると、これまでのように教職員は「そう思う」「ややそう思う」を合わせて100%の回答をしていますが、保護者の皆様の回答では、いじめ防止の取組や相談窓口の認知について70%台という低い結果となりました。しかし、設問16・17のように、本校における未然防止の取組やいじめへの対応は、90%以上の保護者の方々に適切に行っていると評価していただきました。

いじめという行為は、どの子供にも、どの学校でも起こりうる問題であるという危機意識を持ち、未然防止、早期発見及び早期対応に向けた取組を進めております。5つの設問を見ると、保護者に皆様に本校の取組がまだ十分に伝わっていないと言えます。いじめ事案の早期発見、対応のため、仙台市によるアンケートの他に、6月、9月、2月と年3回「学校生活アンケート」を実施し、子供たちの思いや悩み等を理解し、日々の指導に生かしております。こうした取組を皆様に積極的にお知らせしていくこと、学校と家庭が協力していじめの事案に対応し、子供たちが安心して学校生活を送ることができる環境を作っていきたいと思っております。

	A	B	C	D	A+B	評価	
18 感染防止に対して適切に対応している	児童	82%	14%	3%	0%	96.3%	◎
	保護者	49%	47%	3%	0%	96.6%	◎
	教職員	59%	41%	0%	0%	100.0%	◎



今年度は、手洗いの励行、マスクの着用、換気の徹底等の感染対策を講じながら教育活動を進めてまいりました。皆様のご理解とご協力のおかげで、学校での生活を送ることができました。本当にありがとうございました。アンケートの結果からも、適切に対応することができたと評価していただきました。子供たちが安全に、安心して学校で学習を進め、友達と楽しく過ごすことができるよう、これからも様々な対策を講じていきたいと思っております。